

内山愚童 曹洞宗の禅僧ながら、無政府主義者となり、大逆事件に連座して死刑に処せられた。

うちやまくどう

佐賀の乱・1874 = 新潟県魚沼郡小千谷で、宮大工で和菓子木型職人内山直吉の長男に生まれる。母はカズ。幼名慶吉。

明治14年政変1881 = 7歳 :

幼年から佐倉惣五郎らを慕い、

岩倉具視没・1883 = 9歳 :

内閣発足・1885 = 11歳 : 小千谷尋常高等小学校を優秀な成績で卒業。父のもとで、和菓子木型づくりを見習修業するが、
長じてからは土地解放や婦人参政権について関心を持つようになり、

帝国憲法発布1889 = 15歳 :

帝国議会始・1890 = 16歳 : 父が不慮の事故で急逝すると、向学の念抑えがたく、

大本教・1892 = 18歳 :

郡司千島探検1893 = 19歳 : 家業を弟に譲って上京し、

日清戦争始・1894 = 20歳 :

母方の実家と親戚の井上円了家の家庭教師となどするうち、

八幡製鉄始・1897 = 23歳 : 出家し、叔父の弟子の曹洞宗の寺の住職に就いて得度、

Bushidou・1899 = 25歳 : 曹洞宗第二中学林本科2年を修了し、海蔵寺認可僧堂掛籍となる。

ビア/国産化・1900 = 26歳 : 和田壽静のもとで立職。

田中正造直訴1901 = 27歳 : 神奈川県第六宗務所下四等法地林泉寺宮城實苗の室で嗣法し、

教科書疑獄・1902 = 28歳 : 月刊{神奈川教報}を発刊するも、3号で終刊。

日露戦争始・1904 = 30歳 : 社会主義の研究を始め、禅堂の共同生活を社会に適応させるべく、幸徳秋水・堺利彦らと交流、
*{平民新聞}に「予は如何にして社会主義者となりし乎」を寄稿。林泉寺の住職となる。

日露戦争終・1905 = 31歳 : この頃、"寺子屋" "青年組合"などの地域活動にあたるうち、

満鉄発足・1906 = 32歳 : この頃から"修道苑"構想を抱き、

韓国反日暴動1907 = 33歳 : 再び、月刊{神奈川教報}を発刊するも、3号で終刊。

アラビ 創刊・1908 = 34歳 : *赤旗事件を契機に、無政府主義者となり、寺で次々秘密出版を行い、

伊藤博文暗殺1909 = 35歳 : *出版法違反・爆発物取締規則違反で起訴され入獄、林泉寺住職も罷免され、

韓国併合・1910 = 36歳 : 続いて大逆事件に連座、

大逆事件判決1911 = 37歳 : 死刑に処せられた。

著述に「(入獄紀念)無政府共産」「平凡の自覚」その他があり、仏教とアナキズムを結合させた特異な思想と行動が際立つ。